

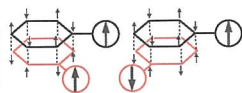
Part I 基礎概念と研究現場

★Interview

1章 フロントランナーに聞く (座談会)

002

大越 慎一教授, 大場 正昭教授, 張 浩徹教授,
速水 真也教授, 宮坂 等教授 (聞き手: 山下 正廣)

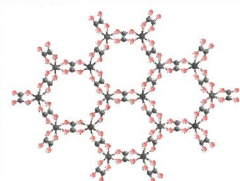


★Basic concept-1

2章 有機分子磁性の基礎

013

菅原 正・鈴木 健太郎



★Basic concept-2

024 金属錯体から磁性体へ

大川 尚士

★Basic concept-3

030 分子磁性の量子化学理論

北河 康隆・山口 兆

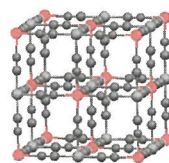


★Present and Future-1

3章 有機分子磁性研究の歴史と 将来展望

038

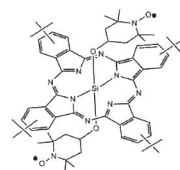
岩村 秀



★Present and Future-2

043 金属錯体分子磁性研究の歴史 と将来展望

志賀 拓也・大塩 寛紀



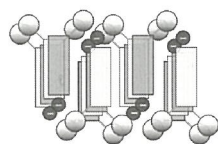
CONTENTS

Part III

研究最前線

1 章 有機磁性体の分子設計と 048 磁気量子効果

細越 裕子

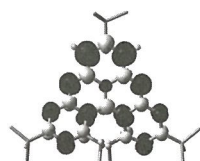


2 章 励起状態高スピン化学とその 055 スピントロニクスへの展望

手木 芳男

3 章 スピン分極ドナーが拓く磁場応答 063 型有機導電体

菅原 正・鈴木 健太郎

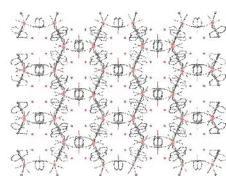


4 章 縮合多環炭素中心型中性 π -ラジカル 070 ル・分子スピン電池

西田 辰介・森田 靖

5 章 高分子ラジカル電池 079

小柳津 研一・西出 宏之

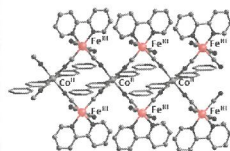


6 章 分子スピン量子コンピュータと 086 量子制御技術

佐藤 和信・工位 武治

7 章 空間をつかうスピン化学 096

大場 正昭

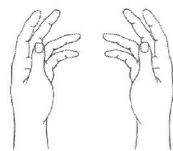


8 章 ダイナミック磁性体 104

佐藤 治

9 章 最近のキラル磁性の動向 110

西原 禎文・井上 克也



10章 光スピנקロスオーバー強磁性体 116 とキラル光磁性

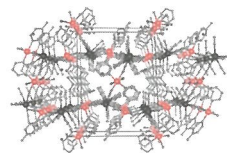
大越 慎一・井元 健太

CONTENTS

Part III 研究最前線

11章 金属錯体一次元磁性鎖：ナノワイ

124 ヤーから相転移化合物まで 宮坂 等

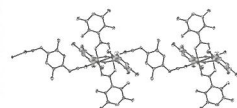


12章 電子移動が絡む分子強磁性

132 小島 憲道・糸井 充穂

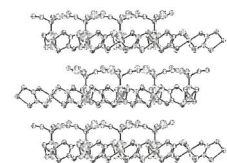
13章 多機能性スピנקロスオーバー錯体

138 速水 真也



14章 マクロ現象とシンクロする

145 原子価互変異性 張 浩徹・桐谷 乃輔

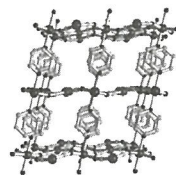


15章 多重双安定性物質のスピンの化学

152 二瓶 雅之・大塩 寛紀

16章 希土類単分子磁性

159 石川 直人

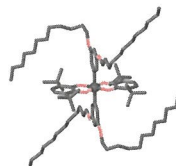


17章 f-d系およびf-p系単分子磁石

166 石田 尚行

18章 単分子スピントロニクス

172 山下 正廣・加藤 恵一



CONTENTS

Part III

役に立つ情報・データ

① この分野を発展させた革新論文 36 180

② 覚えておきたい関連最重要用語 189

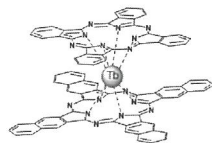
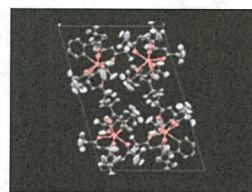
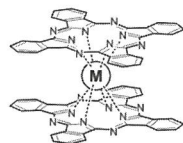
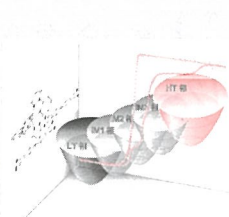
③ 知っておくと便利！ 関連情報 194

索引 197

執筆者紹介 202

★本書の関連サイト情報などは、以下の化学同人 HP にまとめてあります。

→<http://www.kagakudojin.co.jp/special/csj/index.html>



永田 千鶴 71
2011

千鶴 千鶴 81
2011